

第4節 協働・学習プロジェクト

概要

本市の環境政策を推進する上では多くの方の協力が必要です。子どもから大人までいろいろな立場の市民一人ひとりが、地球や地域の環境を守ることを自覚し、自主的に環境保全のための行動が出来るようになれば大きな推進力となります。

本プロジェクトでは、様々な年齢層、立場の方が主体的に環境学習や環境保全活動に関われるよう、「地域の環境美化・保全活動の推進」「主体的な環境学習・活動等を支える仕組みづくりの推進」「学校での環境教育の推進」を柱として重点的に取り組みます。

環境指標の達成状況（先頭に◎がついている指標：プロジェクト代表指標）

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況				
			2017年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
環境推進員が関わる活動に対する総参加者数	人	増加	56,000	56,560	57,120	57,680	58,240	58,800
				54,627	13,358	30,180	40,865	
				×	×	×	×	
◎環境学習関連事業の参加者数	人	増加	34,108	基準値以上				
				169,236	66,952	62,354	63,358	
				○	○	○	○	
市内小中学校における「地球にやさしい学校」の取組評価の平均点	点	増加	23	基準値以上				
				23.0	23.0	—	21.5	
				○	○	—	×	

【現状及び課題】

◆代表目標指標を達成し、他の目標指標についても概ね達成

代表目標指標の「環境学習関連事業の参加者数」については、生物多様性の保全に関する普及啓発を目的とした展示会や、市内の小中学校、団体等に対する環境に係る出前講座等、市民の環境意識の高揚を図る様々な機会を設けたことで、基準値を大きく上回り目標を達成しました。

「環境推進員が関わる活動に対する総参加者数」については、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せてきたことから、前年度に比べ総参加者数が増加しましたが、目標を達成することはできませんでした。今後も活動の推進を呼びかけ、参加者数の増加を目指していきます。

「市内小中学校における『地球にやさしい学校』の取組評価の平均点」については、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により評価できませんでした。2022年度は感染症の緩和に伴い、評価を再開することができました。しかし、感染防止対策を講じた上での実施となり、学校以外の人的交流に広がる活動や児童・生徒の自主的な取組はコロナ前と比べて自粛傾向であり、目標を達成することはできませんでした。引き続き、子どもたちが主体的に環境配慮行動をとれるよう啓発し、環境教育の浸透に努めていきます。

主な施策の実施状況

(1) 地域の環境美化・保全活動の推進

毎年春と秋に、所沢市自治連合会・所沢市環境推進員連絡協議会・所沢市の3団体の主催で「環境美化の日」を実施しています。道路、公園、水路等にポイ捨て、放置されたごみを回収する等の清掃活動を行い、地域の環境美化を推進しています。

[2022年度実績]

春の環境美化の日：参加者 21,431人 / 回収したごみの総量 36.47t

秋の環境美化の日：参加者 18,609人 / 回収したごみの総量 29.03t

(2) 主体的な環境学習・活動等を支える仕組みづくりの推進

2022年8月から12月までの計5回、参加者が地球温暖化問題を自分事として捉え、問題意識の共有を行うこと等を目的として、早稲田大学の協力のもと「マチごとゼロカーボン市民会議」を開催しました。

無作為に抽出した4,500名の中から選出した市民51名が参加し、専門家等からの情報提供を受け、議論等を参加者一人ひとりが主体性を持って取り組むことで、参加者全員に行動変容が見られました。

市民会議で出された意見や結果は、報告書として取りまとめ市のホームページで公表するとともに、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」の中間改定に反映させるため、所沢市環境審議会に提出しました。今後は、市民会議の結果について環境審議会による審議がなされ、市の環境基本計画へ反映させるほか、脱炭素社会を実現させるための今後の市の施策に反映させていく予定です。

(3) 学校での環境教育の推進

児童生徒の環境意識の向上と学校での主体的な環境活動をより活発化させることを目的に、優れた環境活動を行っていた市内小中学校(7校)を「地球にやさしい学校大賞」として表彰しました。

併せて、受賞校の代表児童生徒が、ファシリテーターからの情報提供や他の参加児童生徒との対話を通じて環境問題について話し合う「地球にやさしいこどもサミット」を開催しました。

「地球にやさしいこどもサミット」で決めた環境標語と、別途募集した環境ポスターを組み合わせ環境カレンダーを作成し、市内小中学校等での掲示を通じて、児童生徒の環境意識向上を図っています。



■ マチごとゼロカーボン市民会議



■ 地球にやさしいこどもサミット